

「星ヶ森峠より石鎚遠望」

# 養正会報

第 48 号
発行所
〒799-1101 愛媛県西条市
小松町新屋敷乙42－1
小松高等学校
養正会
印刷　株式会社サラト

## 変貌期に抱く思い

養正会会長　工藤憲治



会員の皆様には日々養正会の本部並びに支部活動にご協力・ご支援を頂き誠に有難うございます。

令和四年七月に県教委より、五十五校が四十四校に県立高校再編計画が発表され、西条周桑地区では小松・丹原・東予高校の三校が二校に編成される事となりましたが、皆様のお力添いを頂き校名は小松高校の名前を存続する事が出来ました。しかし新校準備委員会を経て新小松高校の内容が協議され、校訓・校章・校歌が新しくなり、学科も編成され情報科学科が加わり今年度募集が始まり令和八年四月に新小松高校が開校され一期生が入学し新校としての新しい歴史がここからはじまります。

これからの二年間は、新旧の小松高校の生徒たちが同じ学び舎で共存していく事に成り、部活動・体育祭・文化祭などいろいろな取り組みが行われていきますが、新旧が融和を図り取り組んでいく事が必要だと思います。

現小松高校は令和九年に創立百二十年を迎えます、そして令和十年三月の卒業生をもって閉校となり、卒業式と閉校式が行われる事に成ります。

養正会としては、創立百二十周年の事業を学校と会員の皆様と保護者の連携で素晴らしい記憶に残る周年事業として実施していきたいと考えています。又、卒業式と閉校式についても卒業生と同窓生と教職員の皆様に感動していただける式典になる様に力を合わせて頑張る事だと思います。その為には皆様にご理解とご協力そして多大なるご支援をお願い申し上げます。

養正会としては、これから同窓会の編成協議に入っていくと思います。新校を巻き込み前向き思考で未来に進む養正会として存続していく事を話し合いたいと思います。

最後になりましたが、小松高校の変貌期に関わりを頂きました、会員を始め教職員と関係各位の方々のご協力・ご支援に感謝申し上げます。

本当に有難う御座いました。

## 巡り合いの不思議

校長　村井浩昭



なぜ巡り合うのかを私たちは何も知らない・・・なぜか今年度の養正会本部総会で「糸」を唄う私の姿がありました。子どもの結婚式に際し、「披露宴でお父さん唄って」というお願いに気分上々で二つ返事でやる気になりました。その結婚式は、養正会本部総会の翌日、そのことをうっかり話してしまったことで、明日の為に練習したらと、いつのまにか歌うことになっていました。令和元年度、二年度の教頭時代のあと、他校勤務となってからも本部や松山支部から声を掛けていただき、石鎚神社会館での総会やリジェールでの松山支部総会に参加させていただきました。工藤会長からは、松浦ヨリ子校長の後に赴任したらどうかと冗談交じりでよく言われたものです。これが本当になるところが巡り合いの不思議。養正会の皆様には、長きに渡り変わらぬ御厚情、御協力、御支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

令和七年度の入学生は、普通科九十一名、ライフデザイン科十七名、合計一〇八名でした。今年度は現小松高校で三学年が揃う最後の年でした。「小松高校」「東予高校」「丹原高校」の三校が二校「小松高校」「東予総合高校」に生まれ変わる日がすぐそこまで来ています。今年度の重点努力目標は「情理を尽くす　学び合い　高め合い　築き合い　～伝統を継承し、養正が丘から未来を拓く～」と定めこの一年教育活動を続けてきました。伝統を大切にしながら同じ校地養正が丘で学ぶ新小松高校への橋渡しを、知的で協働的な高校生活を継続しながら円滑に行っていきたいという願いが込められています。

この一年を振り返ってみると、生徒は、生徒会スローガン「輝笑転結～笑顔が絶えない青春を～」の下、前向きに笑顔で学校生活を楽しんできました。第七十九回愛媛県高等学校総合体育大会には、総勢七十七名が出場し、男子バレーボール部と女子サッカー部は堂々のベスト4、男子テニス部もダブルスでベスト8となりました。男子バレーボール部は、四国大会出場を果たし、養正会の皆様や教職員の声援をエネルギーに変え一回戦を突破、二回戦でも一セットを奪うなど健闘し、ベスト8というすばらしい成果を残しました。野球選手権大会愛媛県大会では昨年度の西条戦での雪辱を晴らし、堂々のベスト4。吹奏楽部は、マーチングコンテストに三年連続で四国大会に出場し、銀賞を受賞いたしました。日本音楽部も小松町文化祭、高文祭などで素晴らしい音色を奏でています。

二学期はまさに怒涛の学校行事ラッシュ。体育大会を皮切りに、小松高祭、ウォークラリーと続き、活況のうちに駆け抜けました。養正会で味をしめた私は、小松高祭の閉会式でPTAの方々とバンドを組み、最後は生徒会長も巻き込んで、盛大な幕引きを飾りました。

次の四月からは、しばらくの間、現校と新校とが支え合う時代が始まります。

新校の校章・校訓はすでに決定し、公表済です。また、小松高校、丹原高校の生徒と教員から結成されたチーム「新しい小松の風」が作詞した校歌は、昨年のうちに完成し、令和八年一月に公表されました。秋川雅史様による美しくも力強いメロディーが詞に重なり、更に壮大なオーケストラ演奏も用意していただくなど、誠にすばらしい出来栄えとなっています。この校歌とともに、新しい小松高校は、春の風に背中を押されるように、新たな未来への確かな第一歩を踏み出しています。

現校・新校それぞれの生徒の成長を温かく見守っていただきながら、今後とも養正会の皆様の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 養正会本部総会

令和７年５月24日、養正会本部総会を石鎚神社「神社会館」で開催した。

当地で開催されるのは今年で３回目となり、49名の同窓生、在校生、教職員が集い、総会と懇親会で親睦を深めた。

吹奏楽部の演奏では、思い出の曲、つい口ずさむ曲、校歌など出席者と演者生徒の一体感のある楽しいアトラクションとなった。

以下、出席者名簿をご覧になり、来年度の本部総会へのご出席をご検討ください。














## 令和７年度 養正会総会出席者

（令和７年５月24日　石鎚神社会館）

森岡　淳二　芥川　衛司
松浦ヨリ子　伊藤　壽男
吉田真由美　岡本　哲彦
玉置　泰之　西川　四郎
佐伯　正孝　川上　寛貴
藤木はるみ　村上　彰彦
竹内佳代子　谷口　晃
大野　金子　一色　美敏
中原由美子　武智　正人
信崎知惠美　日野　泉
酒井　美子　伊藤　英美
髙木　良江　工藤　憲治
白石真由美　参川　正敏
矢野　幸子　荒川　孝樹
丹下　輝子　一色　賢二
植木　淳二　渡部　英志
森　八重子　白澤　慶悟
行本すずの　日野　貴博
石川　敬子　藤岡　直哉
岸　照子　高橋　圭三
篠原　紀昭　山本　宏
吉實　勇治　藤井　武彦
村井　浩昭　山本　鷹裕
久門　美和　藤本　賢二
後藤　宏樹　平塚　敏和
加藤　真一　伊藤　信子
志賀　孝弘　森　孝子
木村　久司　宇佐美友子

Photo studio 華縁 はなえにし
【フリーダイヤル】0120-88-4840
■営業時間 / 9：30～18：30　■定休日 / 火・木曜日
■〒793-0041 西条市神拝甲 487-3

夢を与えるスポーツ店
有限会社 オオウエスポーツ
〒792-0804 新居浜市田所町 4-61
TEL(0897)33-4740
FAX(0897)33-4742
homepage https://ooue-sports.com
←インスタグラムもチェックしてね！

カゴヤ Iotaro 五百人食堂 ジュタロ

# 松山支部

## 『卒業写真のあの人は♫』私の青春そのもの



松山支部長
中原由美子

2025年9月13日（土）12時より、リジェール松山にて「養正会松山支部同窓会」を開催いたしました。恩師、同窓生、学校関係者、養正会役員各位より54名の方々にご出席いただき、かつてないほどの賑やかな会となりました。小松高校ＯＢテノール歌手 秋川雅史さんからのメッセージ動画を紹介後、村井校長先生の弾き語りではアンコールが鳴りやまず予定外の2曲『乾杯・糸♫』を披露していただきました。また全員で合唱した『卒業写真♫』では青春のひとこま、青春のあの人を思い出された事と思います。

さて、私事ですが、２０１８年より7年間の松山支部長の任務をこの3月で終える事となりました。この間、西日本豪雨、コロナ禍により数年に渡り同窓会の中止が続きました。役員間では「同窓会の灯火を」消さないように、また再開を願い継続的にコミュニケーションを図ってまいりました。２０２３年の４年ぶりの同窓会開催には感慨もひとしおでした。

これまでの「松山支部同窓会」の開催にあたり、ご出席、またご出席表明をいただきました会員の皆様、学校関係者の皆様、養正会役員の皆様のご理解とご協力には心より感謝申し上げます。またアトラクション（よさこい連・マジック・歌唱）にご出演の皆様のご協力にも改めて御礼申し上げます。この7年間皆様と共に「養正会」の維持、発展に関わらせていただいた時間は私にとって大変貴重なものとなりました。今後は一会員として同窓会の席で皆様との交流を深めていければと思っております。

松山支部では、２０２６年度より6名の新役員が仲間入りし、会の運営に新しい風を吹き込んでくれる事と期待しております。

２０２６年度の「松山支部同窓会」は、9月12日（土）12時より、リジェール松山にて開催を予定しております。新体制の下、一人でも多くの笑顔に出会えるよう役員一同で準備し皆様のご参加をお待ちしております。








## 松山支部　新役員紹介



事務局長
星加裕之
H16年卒



事務局（会計）
日野智仁
S63年卒



事務局
稲井誠司
S54年卒



副支部長
藤原直之
S51年卒



副支部長
佐々木隆雄
S45年卒



支部長
矢野信太郎
S40年卒

## 令和7年度 松山支部総会出席者

（令和7年9月13日 リジェール松山（ＪＡ愛媛））

藤原浩子　石川敬子
山田里美　岸照子
芳之内亮　森八重子
森岡淳二　行本すずの
村井浩昭　佐々木隆雄
後藤宏樹　白石元子
加藤真一　大西正輝
工藤憲治　桐本路子
日野貴博　安部行洋
高橋圭三　石丸美保子
藤井武彦　大橋みどり
篠原紀昭　岡本智恵子
木村久司　越智つや子
森孝子　工藤伸夫
藤本賢二　工藤ふじえ
佐伯正孝　信崎知恵美
玉置泰之　中原由美子
藤木はるみ　平塚直美
塩出栄　伊藤敏彦
矢野幸子　藤原直之
伊藤五月　森浩一
森登紀子　稲井誠司
白石真由美　岡田崇津子
高木良江　山内正幸
桧垣守利　菅宗靖
矢野信太郎　芥川雅旨
村上哲邦　日野智仁

株式会社 縁
居酒屋
西条市喜多台445番地5
TEL 0898-65-7747

SOFT LINK
ソフトリンク株式会社
本社　福岡市博多区博多駅前3-7-35　〒812-0011
博多ハイテックビル
TEL:(092)437-5030　FAX:(092)437-5031
E-mail：ito@e-softlink.co.jp
URL:http://www.e-softlink.co.jp

リブラ薬局
リブラ薬局（小松店）
〒799-1101　西条市小松町新屋敷甲209-6
TEL 0898-76-3500　FAX 0898-76-3502

# 関西支部
## 友好の輪の広がり



関西支部長
藤木はるみ

養正会関西支部に対しまして、日頃より多大な御支援、御協力を頂き、心より感謝と御礼を申し上げます。

いよいよ高校再編のお話で、二〇二六年四月より、東予・丹原・小松が統合されて新たに小松高校、東予総合高校の二校に再編されて、新体制でスタートします。現小松高校から、新小松高校への橋渡しの時、歴史の時を迎えます。微力ではありますが、お力添えをして参りましょう。

昨年の本部総会に参加させて頂きました。吹奏楽部の生徒さんが、素晴らしい演奏を披露してくださいました。数年前は三名でしたが、現在は二一名のメンバーが共に取り組んでいるとのことでした。非常に感動した曲が、星影のエールでした。豊かな心になりました。豊かな心と言えば、先日、樋口一葉の書物を読んで大感動です。

二四年の短い生涯で、日本文学に鮮烈な新風を吹き込んだ樋口一葉。彼女の生涯は苦しかった。病死した父の借金を肩代わりし、母と妹を養う必要があった。書いても生活は楽にならない。それでも決して身の上を嘆くことはなかった。「世間の苦しみなどは苦しみとしない」境遇に負けない彼女は、創造への情熱があふれ、名作を生む力となったようです。素晴らしい生涯です。

さて、養正会関西支部総会を、令和七年八月二日、ホテルグランヴィア大阪で盛大に開催することができました。校長先生、養正会会長をはじめ、母校関係者の御臨席、本部、関東、松山の地から沢山の同窓の友が集ってくださいました。

学生時代の思い出、母校を共有しながら、「京遊亭喜多二」氏による、落語で大いに笑って頂き、会場が非常に盛り上がりました。そして、懐かしのメロディーを、参加者全員で大合唱、皆様が一つに解け合い、大絵巻のようでした。会員相互の旧交を温め、絆を深め合う、友好の輪が広がっております。

さて、世界に目を向けると、地球温暖化、またパグウォッシュ会議が開催されました。核兵器廃絶を目指す科学者の国際会議です。核なき世界への強いメッセージの発信となりました。

この地球という偉大な天体、月までの距離は三八万Kです。これを人類は、一〇年と三ヶ月で月に到着しました。この青い天体で、皆さんと仲良く、未来を見つめ、手を取り合って進んでいきたいものです。

さて、本年も同窓の皆様と、一人でも多くの方と大阪の地で、お会いできることを楽しみにしております。

二〇二六年度関西支部総会は、八月一日(土)ホテルグランヴィア大阪で開催いたします。

どうぞ、多くの皆様の御参加をお待ちしております。










## 関西支部　新役員紹介



関西支部事務局長
戸川明子

平成元年（普通科40回）卒業の戸川明子です。この度、関西支部の事務局長をさせていただきます。誠に微力ではございますが、先輩方の御指導を仰ぎながら、養正会繁栄の為、努力して参りますのでよろしくお願い致します。

## 令和7年度
## 関西支部総会出席者

（令和7年8月2日　ホテルグランヴィア大阪）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 村井 | 浩昭 | 中路 | 敏夫 | 篠原 | 紀昭 | 越智 | 雅敏 |
| 久門 | 美和 | 久保 | 恵美子 | 平塚 | 敏和 | 戸川 | 明子 |
| 工藤 | 憲治 | 仁尾 | 佳余子 | 玉置 | 泰之 | 高木 | 良江 |
| 佐伯 | 正孝 | 黒河 | 和子 | 白石 | 真由美 | 矢野 | 幸子 |
| 藤木 | はるみ | 徳永 | 育正 | 首藤 | 勉功 | 越智 | 貞美 |
| 飯尾 | 和昭 | 大野 | 金子 | 青野 | 義夫 | 近藤 | 幸一 |
| 行本 | 強 | 黒河 | 正治 | 瓜生 | 満津江 | 吉本 | 順子 |
| 畑山 | 厚子 | 相原 | 俊朗 | 西 | 淑子 | | |

有限会社 太陽
浄化槽保守点検業　愛媛県知事(登-24)第305号
〒793-0035　愛媛県西条市福武甲2129番地１

東洋管工株式会社
TOYO KANKO
〒799-1354
愛媛県西条市北条1009番地
TEL 0898-64-1010
給排水設備・空調設備

愛媛県知事免許(12)第1944号
お部屋さがし・住まいの売却・購入は
有限会社 東予住建
営業時間／9:00～18:00
電話 0898-64-1123

株式会社 ミツワ電気商会
MITSUWA
ＯＡ情報機器事業部
〒791-0506 愛媛県西条市丹原町徳能甲75番地7
TEL 0898-68-7131　FAX 0898-68-0705
http://www.mitsuwa-ele.co.jp

有限会社 石川不動産鑑定所
〒793-0030　愛媛県西条市大町452番地６
TEL：0897-55-7151　FAX：0897-55-7124
E-mail：i-kan@vega.ocn.ne.jp

株式会社 H&M
High quality design & Material
一級建築士事務所
〒793-0054 愛媛県西条市中野甲616-9
TEL:0897-47-5977
E-mail:handm-2013@khf.biglobe.ne.jp
一級建築士　二級土木施工管理技士
一級建築施工管理技士　応急危険度判定士

# 関東支部
## 新体制でのスタート



関東支部長
玉　置　泰　之

養正会関東支部総会は、例年通り八月三十日（土）、東京帝国ホテルにおいて開催いたしました。

本年度の総会は昨年の台風による悪天候とは異なり、晴天に恵まれました。猛暑の中ではありましたが、会員各位ならびにご来賓、参加者の引率者を含め、総勢六十八名の皆様にご臨席いただきましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

総会では旧友や先輩・後輩と語らい【泣いて、笑って、懐かしんで、喧嘩して（時には言い合いもして）】大いに楽しんでいただけたと感じております。旧友だからこそ許し合え、分かり合えるからこそ、素の自分でいられる…そのように感じる会となりました。

来年度より新たなスタートを切る小松高校と、今後の養正会の展望については、工藤会長と村井校長先生から分かりやすくお話をしていただきました。会員の皆さんも今後の母校がどう変わっていくのか理解を深めることができたと思います。

また、本年もテノール歌手秋川雅史さん（昭和六十一年卒）に歌唱をご披露いただきました。お聴きするたびに歌声は一層洗練され、成長を続けておられる姿に刺激を受けるとともに、深い感動と癒しをいただきました。



関東支部は本年度より体制を新たに致しました。支部長を前任の矢野さんから玉置泰之へ、事務局長を佐伯さんから原一平さんへと引き継ぐことになりました。就任初の支部総会でしたが、前任者である矢野さん、佐伯さんのお力添えをいただき、無事に総会を終えることができました。心より感謝申し上げます。

今後は伝統を大切にしながら新たな試みに挑戦し、今後の養正会を盛り上げていく所存でございます。これまでの活動に新たな風を吹き込み若い世代の会員の参加を増やしていきたいと考えております。

次回の関東支部総会は、二〇二六年八月二十九日（土）帝国ホテルにて開催を予定しております。

関東支部会員の皆様はもとより、地方にお住まいの方も東京観光を兼ねてぜひご参加ください。

皆様と再び語らえることを楽しみにしております。

# 『未来のテーブル』を囲むために



関東支部事務局長
原　一　平

関東支部事務局長を拝命いたしました、原一平です。

母校・小松高校の同窓会である「養正会」は、私たちにとって、かけがえのない思い出と繋がる大切な場所です。総会や支部会で、懐かしい先輩方や同輩の皆様と顔を合わせる時間は、いつも私を温かい気持ちにさせてくれます。

さて、事務局長として、私は今、一つのことを真剣に考えています。それは、「この大切な場所を、どうすれば未来に繋いでいけるのだろうか」ということです。

私たち（既存会員）がこの会に集う理由と、これから社会に出る若い卒業生たちが「集まりたい」と思う理由は、少し違うかもしれません。もし、私たちが楽しかった思い出話に花を咲かせるだけでなく、これから社会で活躍する後輩たちにとって「道しるべ」や「心の拠り所」となるような、そんな温かい「共創」の場を提供できるとしたら。

養正会が、世代を超えて「知恵」と「経験」と「エール」を交換できる『未来のテーブル』になるために、私たちに何ができるのか。

その答えは、きっと皆様一人ひとりの中にあります。「未来の後輩たちに、私たちは何を残せるのか」関東支部として、皆様とその答えを一緒に探していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 令和7年度 関東支部総会出席者

（令和7年8月30日　帝国ホテル）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 川又　康男 | 市川　敏乃 | 工藤　敏久 | 玉置　泰之 |
| 岡部　文彦 | 小澤美穂子 | 近藤　直子 | 原　一平 |
| 秋山ヱイ子 | 矢野　光治 | 藤原　麻美 | 平塚　敏和 |
| 安藤　和徳 | 名越　悦子 | 山口　晶美 | 村井　浩昭 |
| 佐伯　哲 | 宮本　初美 | 木村　久司 | 工藤　憲治 |
| 佐久間武子 | 岩谷　和子 | 矢野　次実 | 高橋　圭三 |
| 徳永　育正 | 多賀部早苗 | 中原由美子 | 日野　貴博 |
| 豊島　宏 | 藤木はるみ | 三好　均 | 藤岡　直哉 |
| 村瀬　直子 | 柳生　和子 | 渡辺　章文 | 渡部　英志 |
| 越智　則男 | 大久保京子 | 大垣　昌之 | 植木　淳二 |
| 佐伯　正孝 | 岡島　京子 | 寺川　泰夫 | 篠原　紀昭 |
| 武田　東枝 | 岸　照子 | 岡田　悟 | 藤本　賢二 |
| 堀江　伸子 | 行本すずの | 日野　明博 | 伊藤　壽胤 |
| 吉田　美江 | 橋本やよい | 青柳　由美 | 石川　華菜 |
| 佐野　安代 | 森　八重子 | 首藤　和憲 | 石川　峻一 |
| 志賀　晴美 | 足利紀代子 | 芥川　雅旨 | 石川　義直 |
| 森川　孝夫 | 伊藤　壽男 | 秋川　雅史 | 佐藤　豊子 |

朝日エンタープライズ株式会社
〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町1-7-4-4階
電　話０３（３２５２）６２６２

株式会社 丹下興産
〒799-1372　愛媛県西条市吉田298番地９
TEL：0898-68-7738



たかはし歯科
799-1371
愛媛県西条市周布822-2
TEL 0898-68-0222

学校行事

## 令和７年度体育大会

◆９月８日（月）、晴天の下、３年生を中心に団結して、体育大会が実施できました。思い出と記憶に残る体育大会となりました。みんな、よく頑張りました。優勝は、次のとおりです。

総合優勝　青嵐
装飾の部　青嵐
応援の部　紅炎











## 令和７年度入学式

◆４月８日（火）の午後１時より、令和７年度入学式を挙行し、108名の新入生を迎えました。式典後、各ホームルーム活動を実施し、新担任やクラスメイトに囲まれ、緊張した１日を過ごしました。晴れて118年の伝統ある小松高校の一員となり、仲間と切磋琢磨して信頼関係を築きながら未来を共に創り上げていくことを誓いました。








日本音楽部演奏


ファッションショー


新生徒会役員紹介

## 令和７年度小松高祭（一般公開）

◆10月31日（金）、天候が心配された小松高祭を開催することができました。お陰様で生徒会スローガン「輝笑転結 ～笑顔が絶えない青春を～」に見合うよう全校生徒355名で一致団結した成果を披露することができました。御来校いただいた皆様、ＰＴＡバザーに出展していただいた保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

OA情報機器・オフィス家具・文具・事務用品
植木事務器　新居浜店
〒792-0023　新居浜市繁本町９番51号
TEL（0897）３２－４７２９番
３３－３９２９番
FAX（0897）３３－３９２９番

森本電機
愛媛県西条市東町295番地

工藤石油株式会社
西条市大町1215-1　〒793-0030

石鎚神社
愛媛県西条市西田甲７９７

エディオン小松店
有限会社 岡本
〒799-1101 西条市小松町新屋敷甲2057-1
TEL:0898-72-6215　FAX:0898-72-6216

ギフトと雑貨のお店
有限会社 あきかわ
799-1351
愛媛県西条市三津屋211-１
TEL 0898-64-0488

# 活躍する在校生

## 夢を追い続けた三年間

男子バレーボール部　中矢　蕾士

私は小松高校バレーボール部に大きな夢を抱いて入学した。愛媛県の頂点に立つこと。

私が一年生の時、先輩方は合わせて七人だった。

とても少人数の中、新人戦では準優勝の好成績を収めており、本気でバレーに取り組めばここで優勝するチャンスがあると思った。優勝を本気で目指す先輩達についていき、総体と春高で準優勝を経験した。また春高ではスタメンとして決勝の舞台を経験させていただき、また絶対ここに戻ってくるという気持ちで夢が広がった。

一つ上の先輩は二人だったため、同級生の大半が主戦力に加わることになった。新人戦ではベスト4に入り、いいスタートを切ったと思っていた。しかしそこからチームで苦しい時期がとても長く続いた。全員の気持ちが一致せずズレが起きたのをきっかけに、技術面のこと以外で指導を受けることが増え、チームの成長が止まってしまった。その結果、総体、春高ともに初戦敗退。まさに絶望だった。これからどうしたらいいのかわからなくなり、練習量に見合っていない結果で、ほんとに続ける意味があるのかと何日も考えた。

あっけなく二タイトルを失い、気づけば最後の年になった。

新チームになると共に副キャプテンとして役割を与えられ、さらにチームのことを考え行動する立場となった。迎えた新人戦では粘り勝つことができず四位で終えた。結果より内容に納得いかず、成長を感じなかった。また監督から「もうお前らをどう勝たしたらいいのかわからん、勝たすことができん。」と告げられた。とてもショックだったが同時に一番大切な存在であることに気づき、毎日熱心に指導していただいていることが当たり前じゃないことに気づかされた。そこから選手間で意見を共有し、自発的に考えバレー理解度があがっていった。

総体では安定したプレーが増え少しよくなった。しかし互角やそれ以上の相手に対して、まだ自分たちのプレーを最大限表現することができない悔しい負け方で、四位で終わった。敗戦後、三年生の思いを共有し、私生活や学校生活を見直し、バレーボールにより集中できる環境を作った。

そして最後の春高。

二日目いよいよ準決勝、新田高校との対戦を迎えた。

リードする展開で始まり、終盤まで取って取られての両者譲らない大接戦になった。「今日の俺らならいける。」と感じるほどで、これまでで一番のバレーボールを再現できていた。しかしあと一歩及ばず、三位で高校バレーが終了した。とても悔しかったが、最後の試合をやり切ることができよかったと思う気持ちがこみ上がってきた。コートに立っている自分たちは一番輝いていて最高の舞台だった。ここまですごくしんどい思いをしてきて何度も折れそうになったが、最後報われてよかったと思えた。またどんな時期でも毎日熱心に伝わるまで指導していただいた監督には、伝えきれないほどの感謝でいっぱいである。振り返ってみると本当に短い三年間で、人生でここまで情熱を出して必死になれるものにであえてよかった。なにより様々な方に支えられ何不自由なくバレーができたことが嬉しく、小松でバレーができて本当によかった。とても貴重な時間をありがとう。




## 第十一回ユース環境活動発表 四国大会　優秀賞

経済研究部　永易　啓斗

十二月二十日（土）、香川県県民（レグザム）ホールで四国大会に参加しました。私たちは、六年前から校内外に蘇生する放置竹林の整備活動を、「竹林をよくする会」（地元一般人の任意団体）と協力して休日に行ってきました。この活動は、放置竹林を間引き伐採して竹林そのものを整備することのほか、伐採した竹を廃棄することなく、新たに付加価値を加える等により再利用を行っています。伐採竹の再利用については、①若竹はメンマに加工して販売します（「竹林をよくする会」に無償提供して加工・販売）。一方、成長竹は伐採竹をチップ状に裁断し、②「ダンボールコンポスト（段ボールを容器として使用する生ごみ堆肥化装置）」の「基材」として付加価値をつけて販売、③農業用肥料として無償提供、④自校でカブト虫の幼虫育成材として利用等を行っています。これら再利用のうち、特に②に注力してきました。なぜなら、西条市は一人当たりのごみ排出量が多く（２０００年以降、県内市町村の中で連続ワースト10入り）、ごみ問題が大きな課題となっている現状を解決するため、上記②により、森林環境悪化原因の一つである放置竹林の整備ができると共に、伐採竹をゴミ問題解決に向けて活用できるため、環境型社会の実現に貢献できると考えたからです。

しかし、現在の上記②活動は、「竹林をよくする会」のボランティアの域に止まっており、この活動に主体性を持たせて幅広く行動できるよう事業化し、私たちの活動収支は自分できちんと把握して、先輩方から受け継いだ竹林整備活動をさらに活発にし、社会貢献を行っていきたいと考えています。また、「小さくてかわいい竹製キーホルダー」作りにも力をいれていきたいと思います。令和8年度からは「ふるさと探究」と「ＩＴサイエンス」部門に分かれますが、皆様、よろしくお願いいたします。



高千穂商事株式会社
〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町1-9-4
電話　(03) 3252-4607
FAX　(03) 5296-7377

株式会社むらかみ
愛媛県西条市三津屋南15番５
電話 0898-64-4001

アールスタジオ
PHOTOGRAPH
西条市三津屋南４−42番地
電話 0898−64−2318

# 活躍する卒業生

## 松本怜生 さん（平成30年度卒業）



卒業生、松本怜生さんの活躍が加速している。以下、昨年度の養正会報で御紹介した後の出演の一部です。

- 連続テレビ小説おむすび　風見亮介　役（ＮＨＫ）
- トーキョーカモフラージュアワー　亮くん　役（朝日放送テレビ）
- 対岸の火事　～これが、私の生きる道！～　今井尚記　役（ＴＢＳ）
- シンデレラクロゼット　主演・神山光　役（ＴＢＳ）
- 殺した夫が帰ってきました　間瀬匡人　役（ＷＯＷＯＷ）
- パワプロドラマ２０２５　―平凡な新社会人の俺がサクセスした話―　猪狩守　役（朝日放送テレビ）
- 新東京水上警察　三上慎吾　役（フジテレビ）
- プロパガンダゲーム　主演・後藤正志　役（ＭＢＳ）

そして、大河ドラマ豊臣兄弟！（ＮＨＫ）に石田三成役として出演されます。

松本怜生さんの魅力が満載の１ｓｔ写真集『Re:O（レオ）』（ＫＡＤＯＫＡＷＡ）では、生まれ育った西条で撮影し、小松高校での写真も収録されています。機会がありましたら御購入されてみてください。






## ありがとう

今久保　宏美



小松高校卒業生、今久保宏美です。

昨年３月末の自主公演のリサイタルから２年も経たずして今回は11月16日に西条市総合文化会館主催で再び、大きな舞台で歌わせていただきました。

リサイタル当日は文化祭やイベントが多く、お客様が来てくださるのか心配でした。会場入りした時、入り口前に、昨年に続き養正会様より大きなスタンドのお花が届いており華やかで、そして皆様から「頑張れ!!」とエールを頂いたようで嬉しかったです。心より感謝申し上げます。

コンサートが始まり、オープニングはピアノの前奏から入り、薄暗い中を緊張でドキドキしながら歩いて行きました。照明が入って歌い始めた目の前にはたくさんのお客様が見えて、涙が出そうでした。

一曲歌い終わったあと、小中学の同級生や小松高校の同級生達が【い、ま、ち、ゃ、ん、ブ、ラ、ボ、ー】のうちわを手に、大きく振ってくれている姿が目に入って思わず笑ってしまいました。そのうちわを見ながら、固くなっていた心も身体も、自然体に戻ったようで、幸福感と共に最後まで歌う事ができました。一人では何もできません。支えてくださる方々の力が何よりの宝物です。年齢と共に形は変わるかもしれませんが私はこれからも歌い続けていきたいです。それが私の夢です。



そして、年齢を重ねても人としてまだまだ未熟さを感じる私ですがどうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

追伸、同級生のみんなへ。

うちわは私一人の時だけにしてね。

でも、心強かったよ。ありがとう。

## 若き勿斎（もっさい）の生き様

小松史談会副会長

越智　敏雄

近藤篤山が十歳の時、父高橋甚内は郷里小林村の田畑を整理し借金を返済し、別子銅山の役人として標高千百ｍ近い場所で、篤山と三歳下の弟の容斎と三人で暮らし始めた。別子銅山は元禄三（一六九〇）年に発見され、安永四（一七七五）年のこの頃は世界有数の産出量を誇り坑夫三千七百人の大鉱山となっていたが、銅の精錬の鉱毒ガスが立ち込め川は赤く染まり樹木も枯れ果て、冬には凍傷で指を落すような酷寒の地であった。鉱夫達の生活は乱れ、篤山兄弟を指導できる先生もほとんどいなく、二人は険しい山道を登り降り、小足谷の円通寺の儀広和尚に漢詩を学び、住む小屋からは四書五経の素読の声が山々に木霊するほどに勉学に励んだ。

篤山二十三歳、学問への直向きな努力が大坂の尾藤二州塾の門に兄弟を導いた。二人は寝食を忘れ猛勉強を始めるが一日二人で一食分の食費しかなく憔悴しきっていた。篤山の学友の越智高州は、「読書勉学にも限度があり適度に心身を養うべき」と忠告した。篤山は、「御親切な注意は誠にありがたい、ただ自分達は父の薄俸を割いて学ぶ身で人並みの事をやっている訳にはいかない。垢じんだ着物を着て寒さを蔽い、薄いお粥を啜り薯を齧り雪花菜を舐めて空腹を満たし成業に向かい専念している。御心配をかけすまないが、一念の発する所、これしきの事で…」と答えた。学問への勇猛精進ぶりと篤実さに感動した高州が二州先生に報告し、二人は塾舎に引き取られた。これ以降、篤山と高州は生涯の友となった。篤山邸書斎に掲げる「勿斎」の額は篤山へこの号を贈った高州の書である。




篤山邸書斎の額

「三戒」の立志・慎独・求己は、「請ふ勿れ」で始まるため「三勿章」とも呼ばれる。

若い篤山は学問で身を立てる「立志」の思い凄まじい。また、「慎独」は「つゝしめよまだよそ目には知らま弓放たぬ先の己が心を」と生涯に渡り「慎」の一字を貫き人格完成に励んだ。後のことだが篤山の次男の簣山は、父は「凡そ事これを人に責めず、常に躬ら行い以って之を示す。人知らずと雖も而も終に悔いず」と述懐しており、正に「求己」そのものの行いであり、朱子学を体現した「三勿章」のとおりの生き様であった。

# 支えられた三年間



生徒会長
高橋琉惟

私は小松高校生として充実した三年間を送ることができました。この三年間を振り返ってみるとたくさんの人の支えがあったからこそ、充実した学校生活を送れたのだと思います。私は生徒会長をしていたことから、数多くの行事に携わってきました。なかなかうまくまとめられない中でも、生徒会役員や先生、生徒のみなさんに支えられ、全ての行事を運営することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。行事の後には、「よかったよ」「ありがとう」などと先生方からお言葉を頂く機会があり、これまで頑張ってきてよかったと思い感動しました。石井会長をはじめとする生徒会役員の皆さんは、これからたくさんの経験をしますが、仲間と協力し、今よりも更によい学校を築いていってもらいたいと思います。この三年間、思い出に残る学校生活を送らせていただきました。私を支え、寄り添ってくださった方に心より感謝しております。

## 令和７年度３年生進路決定状況

1月23日現在

| | | 決定者 | | | | | | | 未定者 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 普通科 | | | ライフデザイン科 | | | 総計 | 普通科 | | | ライフデザイン科 | | | 総計 |
| | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 96 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 10 |
| | | 40 | 33 | 73 | 0 | 23 | 23 | | 3 | 6 | 9 | 0 | 1 | 1 | |
| 種別 | 大学 | 22 | 10 | 32 | | 1 | 1 | 33 | 3 | 6 | 9 | | | | 9 |
| | 短大 | | 2 | 2 | | 7 | 7 | 9 | | | | | | | |
| | 各種・専修 | 10 | 15 | 25 | | 9 | 9 | 34 | | | | | 1 | 1 | 1 |
| | 就職 管内 | 3 | | 3 | | 4 | 4 | 7 | | | | | | | |
| | 就職 県内 | 3 | 5 | 8 | | | | 8 | | | | | | | |
| | 就職 県外 | 2 | | 2 | | 1 | 1 | 3 | | | | | | | |
| | 就職 公務員 | | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | | |
| | 家事その他 | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | |

## 主な合格先

〈四年制大学〉

| | | |
|---|---|---|
| 山口大 | 工 | 創成／国土環 |
| 兵庫県立大 | 国際商経 | 国際商経／経済経営 |
| 島根県立大 | 地域政策 | 地域／経済経 |
| 高知工科大 | 理工学群 | |
| 松山大 | 情報 | 情報 |
| 松山大 | 人文 | 英語英米文 |
| 松山大 | 経済 | 経済 |
| 松山大 | 経営 | 経営 |
| 名古屋経大 | 経営 | 経営 |
| 名古屋学院大 | スポーツ | スポーツ健康 |
| 名古屋商科大 | 経営 | 経営 |
| 朝日大 | 保健医療 | 健康スポーツ |
| 皇學館大 | 文 | 神道 |
| 関西国際大 | 経営 | |
| 大阪国際大 | 人間科学 | スポーツ行動 |
| 大阪工大 | 知的財産 | 知的財産 |
| 奈良学園大 | 人間教育 | 人間／中等音 |
| 神戸国際大 | 経済 | 国際文化ビジ |
| 神戸学院大 | 総合リハ | 作業療法 |
| 神戸医療未来大 | 健康スポーツ | 健康スポーツ |
| くらしき作陽大 | 健康スポーツ | 健康スポーツ |
| 川崎医療福祉大 | 医療福祉 | 臨床心理 |
| 広島文教大 | 人間健康 | スポーツ福祉 |
| 広島経済大 | 経済 | 経済 |
| 徳島文理大 | 総合政策 | 総合政策 |
| 人間環境大 | 総合環境 | 環境情報 |

〈短期大学〉

| | |
|---|---|
| 松山東雲短 | 保育・現代ビジ・食物 |
| 聖カタリナ短 | 保育 |
| 今治明徳短 | ライフデザイン |
| 大手前短 | ライフデザイン |

〈専門学校〉

| | |
|---|---|
| 岡山済生会看護専門学校 | 看護 |
| 今治看護専門学校 | 看護 |
| 東城看護専門学校 | 看護 |
| 十全看護専門学校 | 看護 |
| 関西看護専門学校 | 看護 |
| 四国中央医療福祉総合学院 | 理学療法士 |
| 河原医療大学校新居浜校 | 歯科衛生 |
| 河原医療福祉専門学校 | 柔道整復師 |
| 朝日医療大学校 | 鍼灸学科・歯科衛生 |
| 河原アイペットワールド専門学校 | トリマー学科 |
| 愛媛調理製菓専門学校 | 製菓・製パン・調理師 |
| 修成建設専門学校 | 建築 |
| 東京ビューティーアート専門学校 | トータルビューティー |
| 関西美容専門学校 | 美容 |
| 高津理美容専門学校 | 美容 |
| 総合学園ヒューマンアカデミー | イラストレーター |

〈就職〉

| | |
|---|---|
| アドバンテック（半導体装置部品製造） | 西条 |
| サイプレス・スナダヤ（木材製品等加工スタッフ） | 西条 |
| 糸プロジェクト（店舗接客業・サービススタッフ） | 西条 |
| 四国開発フェリー（接客船内調理） | 西条 |
| 休暇村協会瀬戸内東予（ホテルスタッフ） | 西条 |
| オーシャンヨット（船舶製造修理業） | 西条 |
| 日本食研ホールディングス（生産技術職・倉庫業務） | 今治 |
| 一広（販売職） | 今治 |
| 田窪工業所（製造総合職） | 今治 |
| 住友金属鉱山別子事業所（技能職） | 新居浜 |
| ネッツトヨタ瀬戸内（アテンダント職） | 松山 |
| オートバックス西日本販売　西日本カンパニー（販売・レジ・事務） | 松山 |
| 日清医療食品　四国支店（調理員） | 香川 |
| 濱田重工　君津支店（機械オペレーション） | 千葉 |
| 山崎建設　関西支店（操機職） | 兵庫 |
| 国税庁税務職員 | |

## 養正会からのお知らせ

令和八年度の本部総会は、五月二十三日（土）午前十一時から石鎚神社会館で行います。会員の皆様、ぜひご参加ください。

会員の皆様にご負担をおかけしますが養正会報発行には多くの費用を要しますが継続して発行をする為には協力金が必要となりますので、会員の皆様にはご理解をいただき一人でも多くの方にご協力をお願いできればと思います。

クラス別幹事は次の八名です。よろしくお願いいたします。

一組　黒河　枢
二組　稲井　翔大
三組　久米　舞美
四組　白石　航誠
　　越智　理世
　　中矢　蕾士
　　加藤　凪紗
　　山内　莉乃

最後に、養正会ホームページに母校の現在の様子や同窓会活動を随時更新しております。QRコードを読み取っていただき、是非ご覧ください。

# 令和八年度に開校する（新）小松高校について、紹介します。

## スクール・ミッション

**（期待される社会的役割、目指すべき学校像）**

西条市にある普通科と情報科学科の併設校として、確かな学力と豊かな人間性を育む教育を実践します。また、多様な進路希望を実現する教育活動や、地域と協働した探究活動を通して、地域社会の発展に貢献する、高い志を持った人材を育成します。

## 校章



折り重なる複数の形体は、校是である「積微力行」を、中央に設けた消失点に向かって複数の形体が収束していく様子は、未来に向かって一丸となって進む（伸びてゆく様子）を表しています。また、背景の縦の三本線は、校訓の「立志、求己、慎独」を表し、小松の「小」の文字をイメージしています。

制作：小松高校及び丹原高校の教員・生徒からなるプロジェクトチーム

## 新小松高校校歌歌詞

### 愛媛県立小松高等学校校歌

作詞　秋川雅史と「新しい小松の風」　作曲　秋川雅史

1
篤志の坂　登りし先に
出逢い多き　希望の学び舎
遥かそびえる　石鎚の山
高嶺の夢を　追いかける者
光まといて　小松の風吹き抜けてゆく

2
笑顔が咲く　椿の薫り
瀬戸内を　遠く感じて
思う心は　海より深く
許す心は　空より広く
理想を求め　小松の花咲かせてゆく

3
清らかな　水のせせらぎ
草萌ゆる　慎み深く
永遠の祈り　養正が丘
刻み始める　新しい時代
未来への路　小松の鐘響いてゆく

## 校訓

**立志**（りっし）
**求己**（きゅうき）
**慎独**（しんどく）

近藤篤山先生の「三戒」の教えによる

**立志**…人は生まれ持った才能を高めるため、さらに勉強しなければならない

**求己**…失敗してもひとのせいにせず、自分の悪いところがなかったか反省する

**慎独**…他人が見ていてもいなくても、同じ態度でいなければならない

## 新制服

明るい紺色にアクセントとして、白の二本のラインが襟部分に施されています。



冬　服（スカートタイプ）



夏　服（スラックスタイプ）

## 校是

**積微力行**

近藤篤山先生の教えに基づく言葉であり、「小さなことの積み重ねが大切である」ことを意味します。

## 普通科と情報科学科の二学科が設置されます。

### 普通科

**教員養成コース（県立高校初）**
- 愛媛大学教育学部等と連携
- 幼稚園、小・中学校で教員体験学習
- 愛媛大学教育学部「教員養成コース等特別選考」での受験が可能

**社会共創コース**
- 地域と連携した実社会で必要なスキルの習得
- 地域をフィールドにした体験活動
- 地域の活性化に貢献する探究活動

**文理探究コース**
- 大学進学を目指した、より高度な授業
- 文系・理系に分かれた、細やかな指導
- 国公立大学への進学に向けたカリキュラム

### 情報科学科（県立高校初）

**情報探究コース**
- プログラミングの基本から応用まで幅広く学習
- 大学・企業と連携した、より高度な実習活動
- 大学入学共通テストにも対応した、柔軟なカリキュラム

**情報クリエイトコース**
- 動画編集やサイト制作の技術を学習
- VRやAR，3Dプリンタ等を活用した実習活動
- 地域の課題を解決するためのコンテンツ制作